

# アルコールベース擦式手指消毒剤による 手術前手指消毒法

(WHO ガイドライン PART I.  
手指衛生に関連する科学的データレビュー)  
WHO guidelines on hand hygiene in health care Figure I.13.1  
アルコールベース擦式手指消毒剤による手術前手指消毒法

- 手術のための擦式手指消毒は、手指を完全に清潔で乾燥した状態にして実施してください。
- 手術室に入る前、そして手術着装着後(キャップ等とマスク)には、手を流水と石けんで洗ってください。
- 手術が終わった後、手袋を外した直後手指にアルコールベース消毒剤を擦り込んでください。
- タルクの残差や生体液が手に残っていたら(手袋が破れたりした場合)、流水と石けんで洗ってください。

以下の説明文中、5mLという一回の消毒量はWHOガイドラインに書かれてある通りのものです。ゴージョーMHS使用の場合は、一回3mL(2~3回吐出)を目安にそれぞれの擦式消毒を行い、全体消毒時間が90秒を超えるように必要な部分を繰り返してください。

1



およそ5mL(ゴージョーMHSは3mL)の擦式アルコール消毒剤を左手のひらにとる。オートディスペンサーがあれば、肘を使う必要はない。

2



右手の指先を5秒間消毒剤に漬ける。

3



イメージ3~7:右腕の肘まで消毒剤を塗り広げる。消毒剤が完全に乾くまで、すべての皮膚をカバーするように気をつけながら円を描くように行うこと(10~15秒間)。

4



イメージ3の説明文を参照のこと。

5



イメージ3の説明文を参照のこと。

6



イメージ3の説明文を参照のこと。

7



イメージ3の説明文を参照のこと。

8



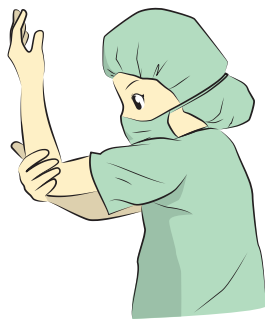
およそ5mL(ゴージョーMHSは3mL)の擦式アルコール消毒剤を右手のひらにとる。オートディスペンサーがあれば、肘を使う必要はない。

9



左手の指先を5秒間消毒剤に漬ける。

10



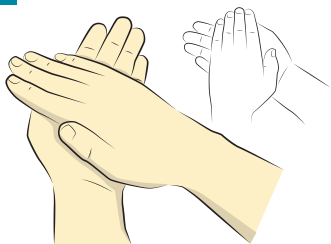
左腕の肘まで消毒剤を塗り広げる。消毒剤が完全に乾くまで、すべての皮膚をカバーするように気を付けながら円を描くように行うこと(10~15秒間)。

11



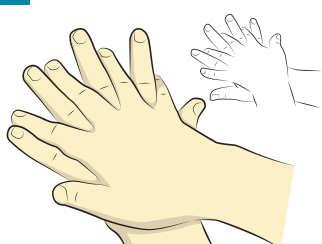
およそ5mL(ゴージョーMHSは3mL)の擦式アルコール消毒剤を左手のひらにとる。MHSオートディスペンサーがあれば、肘を使う必要はない。両手を手首まで同時に擦り合わせる。すべてのステップは以下のイメージ 12 ~ 16 の通りにすること(20~30秒間)。

12



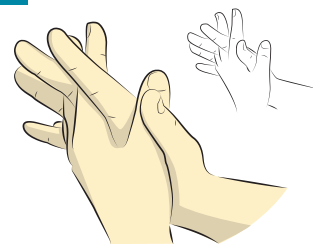
掌と手首までを完全に擦式消毒剤でカバーし、円を描く動きによって掌同士を擦り合わせる。

13



左手の甲(手首まで)を右手の掌で前後に動かして擦り込ませる。反対も同様に行う。

14



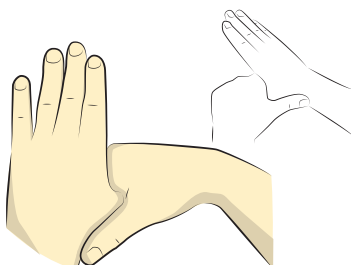
指を交互に組んで掌同士を前後に擦り合わせる。

15



指の外側を別の掌で覆って左右前後に動かして擦り合わせる。

16



左手の親指を右掌で固く握って回転するように擦り合わせる。逆も同様に行う。

17



滅菌衣類と手袋は、両手が完全に乾いてから装着する。

ゴージョーMHSは、前腕の三分の二を90秒間擦式消毒することで、EN12791テスト(注1)に合格しました。

1~16を完了しても90秒に達していない場合は、さらに3mLとって12~16を繰り返してください。

(注1) 欧州連合欧州規格EN12791テストは、日本環境感染学会が定めた「生体消毒薬の有効性評価指針：手指衛生2011」で推奨されている消毒剤評価方法であり、ゴージョーMHSは3mLを適用しながら、90秒間ラビングする(最終的に乾燥するまで)ことで即効性・持続効果(3時間)ともに判定基準を満たしました。

(原文は以下のサイトからダウンロードできます)

WHO guidelines on hand hygiene in health care <http://www.who.int/gpsc/5may/tools/9789241597906/en/>

お問い合わせ先

ゴージョージャパン株式会社 学術 03-5280-4807

作成日 2015年4月15日